

第 1 部

青森県における男女共同参画の現状

1 政策・方針決定過程への女性の参画状況

(1) 県議会・市町村議会の女性議員の状況

平成 26 年 12 月 31 日現在の県議会議員は 45 人（定数 48 人、欠員 3 人）のうち女性は 3 人で、女性の割合は 6.7%となっている。

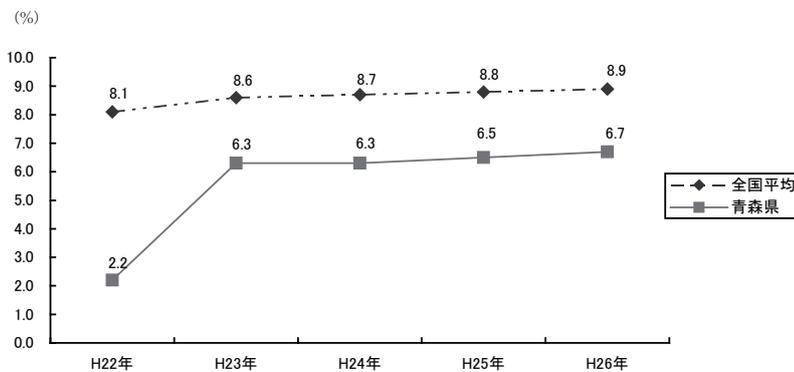
また、総務省「地方公共団体の議会の議員及び長の所属党派別人員調」によると、市町村議員総数は 621 人で、女性は 38 人（6.1%）、男性は 583 人（93.9%）となっている。

内訳は、市議会議員は 255 人で、女性が 27 人（10.6%）、男性が 228 人（89.4%）、町村議会議員は 366 人で、女性が 11 人（3.0%）、男性が 355 人（97.0%）となっている。

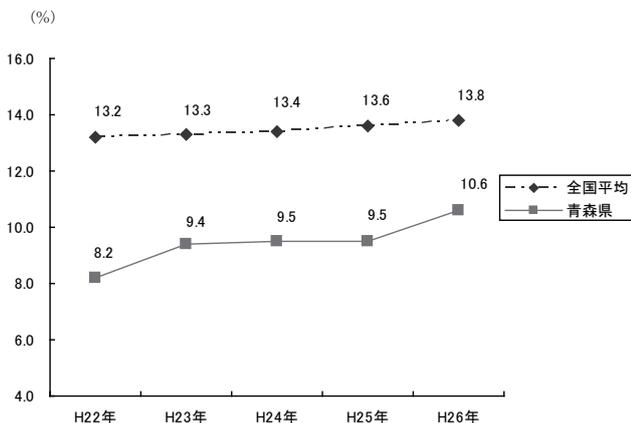
最近の県議会議員一般選挙における議員数（単位：人）（各年 1 2 月 3 1 日現在）

年	平成 11 年	平成 15 年	平成 19 年	平成 23 年	平成 26 年
総議員数	51	51	48	48	45
うち女性議員数	3	1	2	3	3
女性比率 (%)	5.9	2.0	4.2	6.3	6.7

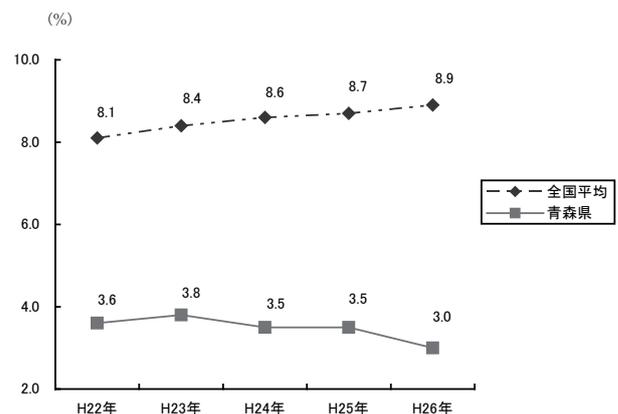
県議会における女性議員の割合



市議会における女性議員の割合



町村議会における女性議員の割合



資料：総務省「地方公共団体の議会の議員及び長の所属党派別人員調」

(2) 審議会等における女性の登用状況

平成27年4月1日現在で、県が設置する審議会等数は75であり、うち68審議会で女性委員を登用しており、その割合は90.7%となっている。女性委員の登用率は、34.4%（委員総数954人中、女性が328人）となっている。

また、平成27年4月1日現在の市町村の審議会等数は711であり、女性を含む審議会等数は563で、その割合は79.2%となっている。委員総数は8,848人となっており、うち女性は2,017人で、その割合は22.8%となっている。

内訳は、市の審議会数（広域組合含む）は343であり、うち290審議会で女性委員を登用しており、その割合は84.5%となっている。女性委員の登用率は25.0%となっている。

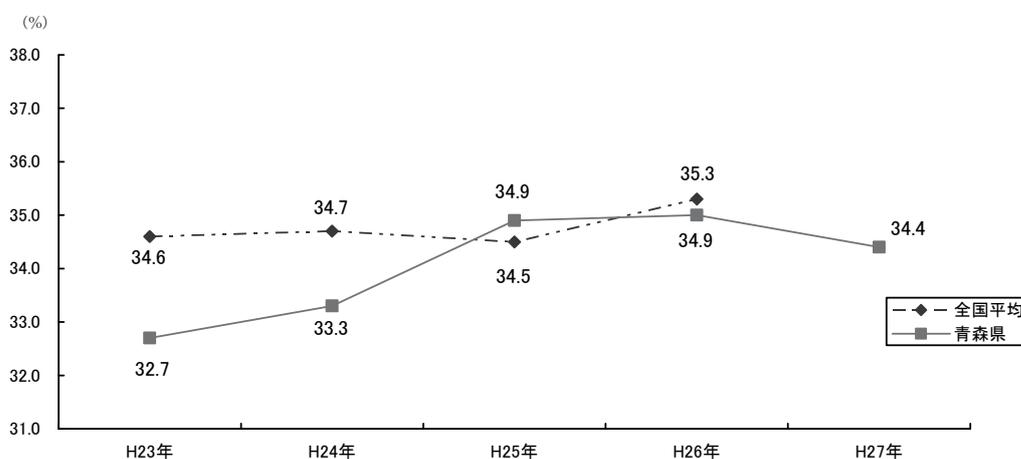
また、町村の審議会数は368であり、うち273審議会で女性委員を登用しており、その割合は74.2%となっている。女性委員の登用率は20.1%となっている。

県の各種審議会等への登用状況（各年4月1日現在）

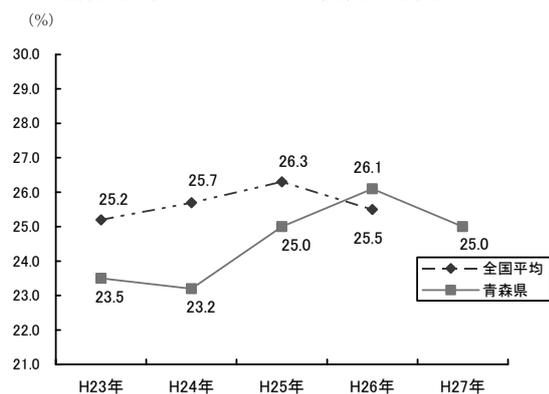
年		平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
機 関 数		70	71	72	72	75
	うち女性を含む審議会数 (割合)	63 (90.0%)	65 (91.5%)	68 (94.4%)	68 (94.4%)	68 (90.7%)
委 員 数 (人)		921	937	965	975	954
	うち女性委員数 (人) (割合)	301 (32.7%)	312 (33.3%)	337 (34.9%)	340 (34.9%)	328 (34.4%)

資料：青少年・男女共同参画課

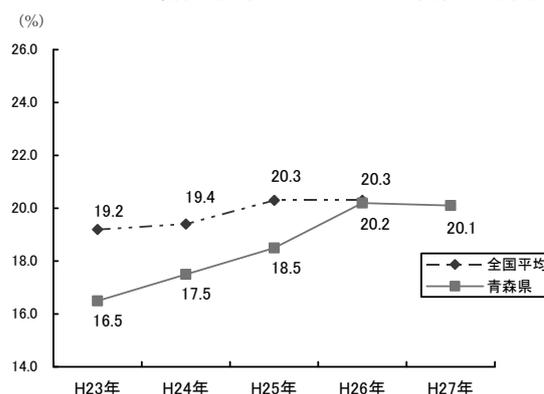
県の審議会等における女性委員の割合（資料：青少年・男女共同参画課 全国平均は、政令指定都市を除く。）



市の審議会等における女性委員の割合（広域組合含む）



町村の審議会等における女性委員の割合



資料：内閣府「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」

(3) 県における女性管理職の登用状況

平成 27 年 4 月 1 日現在の女性管理職の登用状況については、管理職総数は、707 人で、女性は 49 人（6.9%）、となっている。

女性管理職の登用状況（各年 4 月 1 日現在）

年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
管理職 職員数	705 人	695 人	704 人	723 人	707 人
うち女性職員数	55 人	41 人	48 人	45 人	49 人
女性比率	7.8%	5.9%	6.8%	6.2%	6.9%
(参考) 全国	6.4%	6.5%	6.8%	7.2%	—

資料：内閣府「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」
対象は、知事部局、教育庁、病院局、警察を含む。管理職のとらえ方については、本庁課長相当職に就くものと定義をして、各都道府県で集計した結果に基づき全国平均を算出している。

2 教育・学習の機会における状況

(1) 高等学校卒業者の進学状況

平成 26 年度卒業者の進学状況を学校種別にみると、大学への進学者数は 4,549 人で、うち女子は 2,120 人で 46.6%を占めている。また、短期大学への進学者数は 814 人で、うち女子が 704 人で 86.5%を占め、短期大学については女子の進学者が圧倒的に多くなっている。

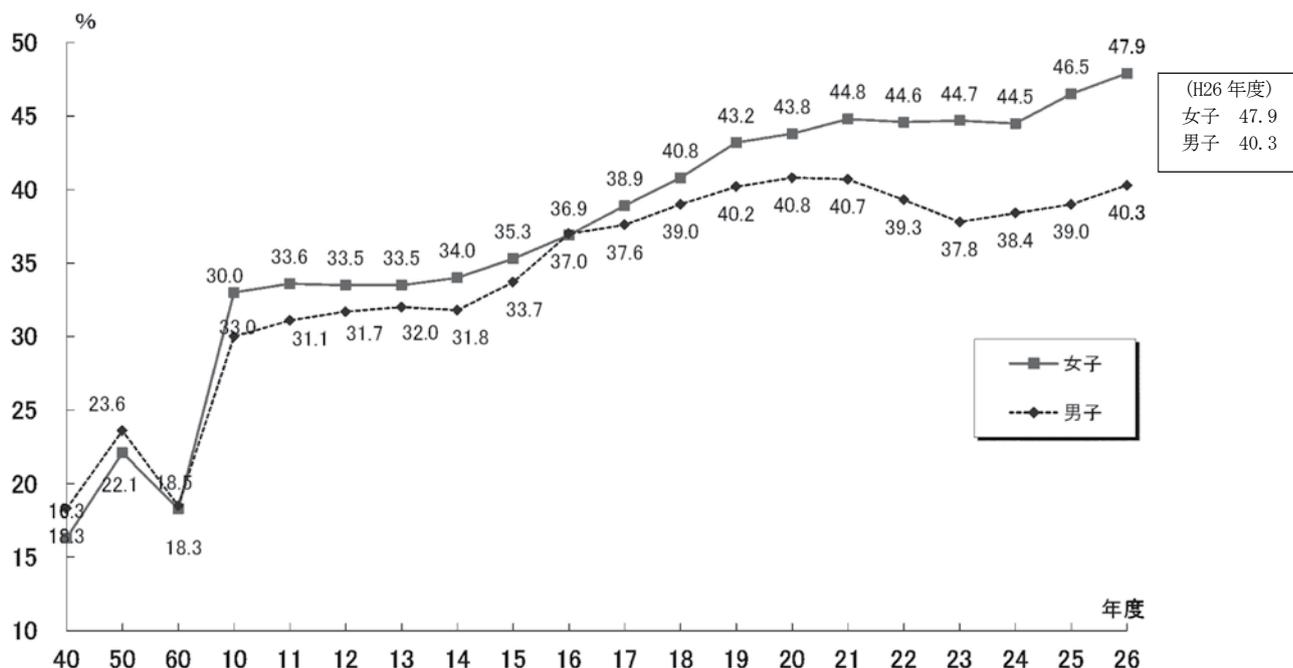
高等学校卒業者の進学状況（平成 27 年 5 月 1 日現在）

区分	平成 27 年 3 月 高等学校 卒業 者 数	進学者数		左 の 学 校 種 類 別 進 学 者 数					
				大学（学部）		短期大学（本科）		その他	
		進学率	割合	割合	割合	割合			
女子	6,096 人	2,921 人	(52.9%) 47.9%	2,120 人	(46.6%) 34.8%	704 人	(86.5%) 11.5%	97 人	(61.0%) 1.6%
男子	6,451 人	2,601 人	(47.1%) 40.3%	2,429 人	(53.4%) 37.7%	110 人	(13.5%) 1.7%	62 人	(39.0%) 1.0%
計	12,547 人	5,522 人	(100%) 44.0%	4,549 人	(100%) 36.3%	814 人	(100%) 6.5%	159 人	(100%) 1.3%

資料：教育政策課「高等学校等卒業者の進路状況」を参考とし算出

(2) 大学・短期大学等への進学率

高等学校卒業者の大学・短期大学等への女子の進学率の推移をみると、平成19年度以降はほぼ横ばいとなっていたが、平成25年度から上昇している。



資料：教育政策課「高等学校等卒業者の進路状況」を参考とし算出

(3) 進学者の学部学科別比率

学部学科別にみた女子の比率は、大学では保健、社会科学、人文科学への進学者で63.8%を占め、短期大学では教育、家政、保健で83.0%を占めている。

進学者の学部学科別比率（平成27年5月1日現在）

大学（学部）				短期大学（本科）			
女子		男子		女子		男子	
保健	25.7%	社会科学	34.8%	教育	44.5%	保健	39.1%
社会科学	23.1%	工学	29.0%	家政	26.6%	社会科学	29.1%
人文科学	15.0%	保健	9.2%	保健	11.9%	教育	17.3%
教育	12.0%	教育	8.5%	社会科学	8.8%	家政	7.3%
家政	7.5%	人文科学	7.9%	人文科学	6.0%	人文科学	2.7%
工学	6.3%	理学	4.9%	芸術	0.9%	工学	0.9%
農学	3.7%	農学	2.7%	その他	1.4%	農学	0.9%
芸術	3.1%	芸術	0.8%			芸術	0.9%
その他	3.6%	その他	2.2%			その他	1.8%

資料：教育政策課「高等学校等卒業者の進路状況」を参考とし算出

3 職場・家庭における状況

(1) 本県における労働力人口

女性労働力人口（15歳以上人口のうち就業者と完全失業者の合計）は、309,400人で、労働力人口総数に占める割合は44.0%である。

女性15歳以上人口は、平成17年から平成22年までの間に19,107人（2.9%）減少した。女性労働力人口も17,117人（5.2%）減少し、女性労働力率（15歳以上人口に占める労働力人口の割合）は、平成22年は48.8%と前回に比べ1.1ポイント減少している。

15歳以上人口、労働力人口、非労働力人口（平成12年、17年、22年）

男女別	年次	15歳以上人口	労働力人口	非労働力人口	労働力率	労働力人口の男女別構成比
総数	平成12年	1,251,760人	771,302人	472,373人	62.0%	—
	平成17年	1,237,418人	748,122人	475,552人	61.1%	—
	平成22年	1,196,355人	702,668人	479,058人	59.5%	—
女性	平成12年	663,340人	331,457人	328,432人	50.2%	43.0%
	平成17年	659,938人	326,517人	327,845人	49.9%	43.6%
	平成22年	640,831人	309,400人	323,984人	48.8%	44.0%
男性	平成12年	588,420人	439,845人	143,941人	75.3%	57.0%
	平成17年	577,480人	421,605人	147,707人	74.1%	56.4%
	平成22年	555,524人	393,268人	155,074人	71.7%	56.0%

(注)「労働力人口」と「非労働力人口」の計が「15歳以上人口」と一致しないのは<不詳>分があるため。

資料：総務省「国勢調査」

(2) 本県における男女別・年齢階級別労働力率

女性労働力人口を年齢階級別にみると、平成17年に比べ、35～39歳、60～64歳、65歳以上の階級で増加しているが、他の階級では減少している。

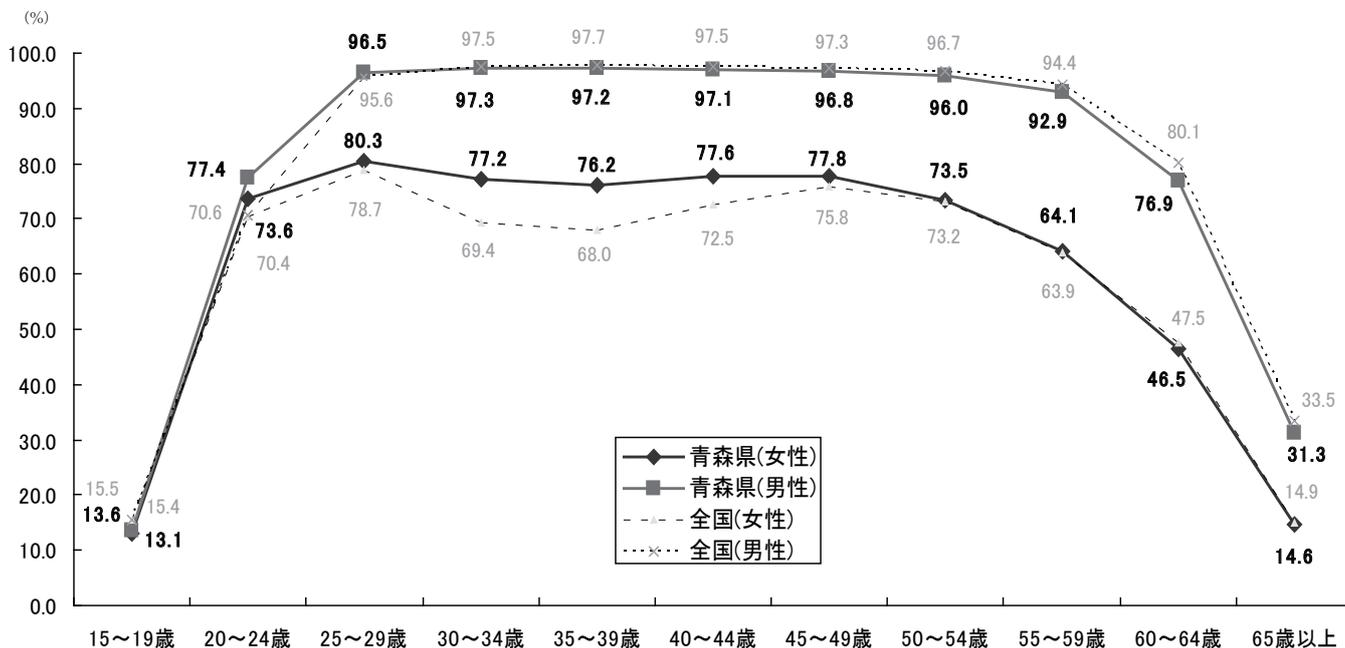
男女別の年齢階級別労働力率をみると、男性が20歳代後半から50歳代までを山とする台形を描くのに対し、女性は30歳代を谷とするM字カーブを描いており、これは本県のみならず、日本の女性労働力率の特徴となっている。本県の女性の労働力率は、20歳以上の年代においては全国の女性より高く、M字カーブも緩やかである。

女性の年齢階級別労働力人口（平成12年、17年、22年）

年次 年齢階級別	平成12年		平成17年		平成22年	
	労働力人口	割合	労働力人口	割合	労働力人口	割合
総数	331,457人	100%	326,517人	100%	309,400人	100%
15歳～19歳	6,646人	2.0%	5,840人	1.8%	4,278人	1.4%
20歳～24歳	29,865人	9.0%	25,850人	8.0%	20,056人	6.5%
25歳～29歳	32,920人	9.9%	30,387人	9.3%	25,581人	8.3%
30歳～34歳	28,876人	8.7%	31,906人	9.8%	29,240人	9.4%
35歳～39歳	31,529人	9.5%	31,272人	9.6%	33,188人	10.7%
40歳～44歳	36,848人	11.1%	34,524人	10.6%	33,346人	10.8%
45歳～49歳	42,703人	12.9%	37,252人	11.4%	34,822人	11.3%
50歳～54歳	42,235人	12.8%	40,092人	12.3%	35,431人	11.4%
55歳～59歳	30,296人	9.1%	37,403人	11.5%	35,489人	11.5%
60歳～64歳	21,399人	6.5%	20,934人	6.4%	27,272人	8.8%
65歳以上	28,140人	8.5%	31,057人	9.6%	30,697人	9.9%

資料：総務省「国勢調査」

男女別・年齢階級別労働力率（平成22年国勢調査）



(3) 女性就業者の推移

平成22年の本県女性労働力人口は309,400人で、女性就業者は287,865人、完全失業者は21,535人となっている。

従来、女性の労働は農業を中心とした家族労働が大きな部分を占めていたが、近年の産業構造の変化、高学歴化などにより、医療・福祉、卸売業・小売業、サービス業を中心とする第3次産業に従事する割合が大きくなっている。

女性就業者の推移（平成12年、17年、22年）

区 分	就業者数			増加率		産業別割合		
	平成12年	平成17年	平成22年	12~17	17~22	平成12年	平成17年	平成22年
総 数	729,472人	685,401人	639,584人	△6.0%	△6.7%	—	—	—
女 性	315,474人 (43.2%)	304,052人 (44.4%)	287,865人 (45.0%)	△3.6%	△5.3%	100%	100%	100%
第1次産業	47,729人	43,348人	34,969人	△9.2%	△19.3%	15.1%	14.3%	12.1%
第2次産業	58,927人	43,890人	37,071人	△25.5%	△15.5%	18.7%	14.4%	12.9%
第3次産業	207,339人	214,158人	208,445人	3.3%	△2.7%	65.7%	70.4%	72.4%
分類不能	1,479人	2,656人	7,380人	—	—	0.5%	0.9%	2.6%

資料：総務省「国勢調査」

(4) 男女別所定内給与額

平成26年の賃金構造基本統計調査によると、本県の女性の所定内給与額の平均は187,200円となっており、男性の所定内給与額の73.9%となっている。

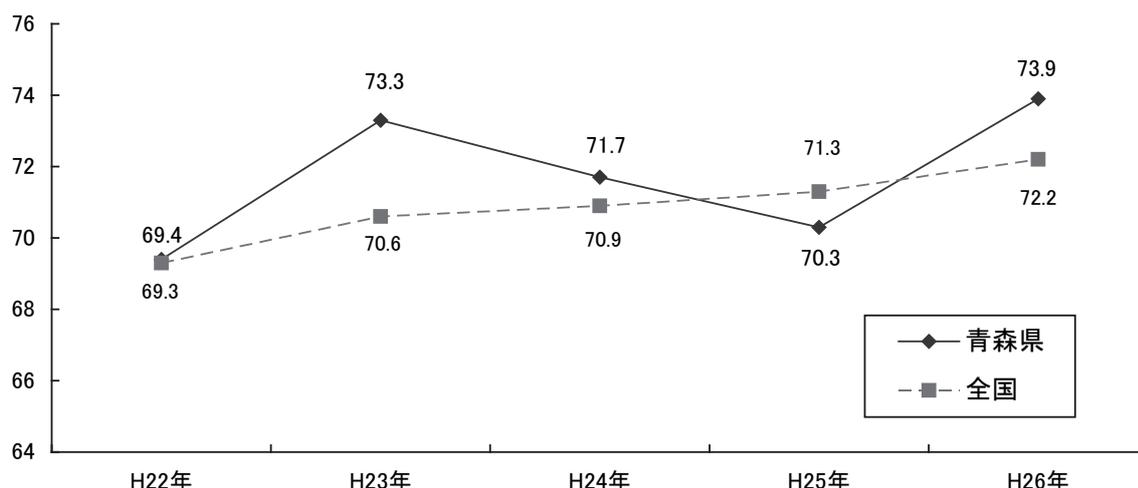
また、全国の女性の所定内給与額の平均は238,000円となっており、男性の所定内給与額の72.2%となっている。

男女別一般労働者の所定内給与額（平成26年）

区 分	青森県		女性の水準 (男=100)	全 国		女性の水準 (男=100)
	所定内給与額			所定内給与額		
	女性	男性		女性	男性	
産 業 計	187,200円	253,300円	73.9%	238,000円	329,600円	72.2%

資料：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

一般労働者の男女間所定内給与額格差の推移（男性=100として算出）



資料：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

(5) 女性のパートタイム労働者の就業状況

パートタイム労働者と通常の労働者との均衡のとれた待遇の確保などを目的とする「短時間労働者の雇用管理の改善等に関する法律」と同法に基づく「パートタイム労働指針」では、事業主が行うべきパートタイム労働者の適正な労働条件の確保など、雇用管理の改善を図るための措置について定めている。

平成26年の本県の女性パートタイム労働者の実態をみると、平均年齢47.2歳、平均勤続年数6.6年、1日当たり所定内実労働時間5.3時間、1時間当たり所定内給与額は823円となっている。

本県パートタイム労働者の労働実態（産業計）（平成26年）

	平均年齢	平均勤続年数	実労働日数	1日当たり所定内実労働時間数（時間）	1時間当たり所定内給与額（円）	年間賞与その他特別給与額	労働者数
女性	47.2歳	6.6年	19.9日	5.3時間	823円	41,200円	46,390人
男性	48.2歳	7.3年	19.0日	4.8時間	964円	23,200円	11,090人

資料：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

(6) 年間総労働時間

平成26年毎月勤労統計調査結果（事業所規模5人以上）によると、本県の年間総労働時間は1,861.2時間で、全国の1,741.2時間に比べ120.0時間多い。

所定内労働時間は、1,748.4時間で、全国の1,609.2時間に比べ139.2時間多い。

所定外労働時間は、112.8時間で、全国の132.0時間に比べ19.2時間少ない。

年間出勤日数は、244.8日で、全国の225.6日に比べ19.2日多い。

年間労働時間・出勤日数（平成25年、26年）

区 分	青 森 県			全 国		
	平成 25 年	平成 26 年	前年比<差>	平成 25 年	平成 26 年	前年比<差>
総労働時間	1,851.6時間	1,861.2時間	0.5%	1,746.0時間	1,741.2時間	△0.3%
所定内労働時間	1,743.6時間	1,748.4時間	0.3%	1,618.8時間	1,609.2時間	△0.6%
所定外労働時間	108.0時間	112.8時間	4.4%	127.2時間	132.0時間	3.8%
出勤日数	243.6日	244.8日	1.2日	226.8日	225.6日	△1.2日

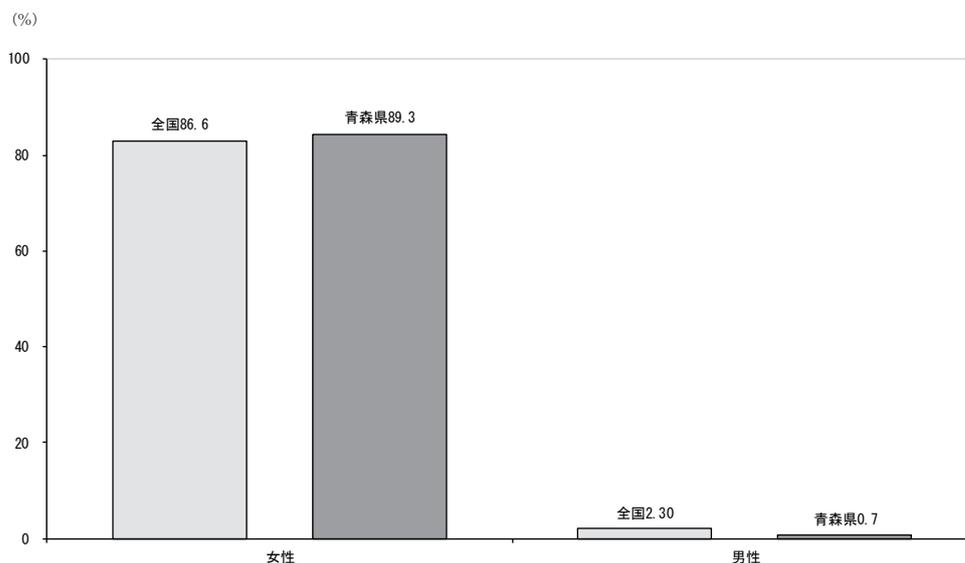
資料：厚生労働省「平成26年毎月勤労統計調査」、統計分析課

（7）男女別育児休業制度の利用状況

厚生労働省「平成26年度雇用均等基本調査」によると、平成24年10月1日から平成25年9月30日までの1年間に出産した者又は配偶者が出産した者のうち、平成26年10月1日までに育児休業を開始した者の割合は、全国で、女性86.6%に対し、男性は2.3%であった。

なお、青森県内の事業所における平成26年1月1日から平成26年12月31日までの育児休業制度の利用状況は、平成26年青森県中小企業等労働条件実態調査（労政・能力開発課）によると、出産した女性の89.3%が育児休業を利用したのに対し、配偶者が出産した男性の利用率は0.7%であった。

育児休業制度の利用状況（全国・青森県）



資料：厚生労働省「平成26年度雇用均等基本調査」

県労政・能力開発課「平成26年中小企業等労働条件実態調査」

（8）男性の家事・育児参画状況

総務省「平成23年社会生活基本調査」によると、全国で6歳未満の子どもがいる妻の家事・育児時間の合計は6時間57分に対し、夫は51分であった。

なお、青森県における妻の家事・育児時間の合計は6時間3分に対し、夫は39分であった。

6歳未満の子どもがいる夫及び妻の家事・育児への参画時間（平成23年）

区 分	青森県		全国	
	夫	妻	夫	妻
家事時間	9分	3時間37分	12分	3時間35分
育児時間	30分	2時間26分	39分	3時間22分
合 計	39分	6時間3分	51分	6時間57分

資料：総務省「平成23年社会生活基本調査」

4 農林水産業における状況

(1) 家族経営協定締結農家数

農業経営における女性の役割と位置づけを明確にするために、家族間で就業条件等の取り決めを行う「家族経営協定」を文書で締結する農家が増えており、締結農家数は、平成27年3月31日現在で1,230戸となっている。

また、平成26年度中に新規締結した52戸のうち、39歳以下の女性がいる農家は16戸となっている。

家族経営協定締結戸数（各年3月31日現在）

年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
締結農家戸数	886戸	956戸	1,091戸	1,179戸	1,230戸

資料：農林水産政策課

(2) 農山漁村女性の登用状況及びリーダー等の育成状況

農林水産政策課及び地域県民局地域農林水産部では、女性の声を地域に反映させることができるよう、各種セミナーや関係機関・団体長等との懇談会の開催などにより、農山漁村女性リーダーの育成を行っており、平成27年4月1日現在のViC・ウーマン認定数は380人となっている。

農山漁村女性の登用状況及びリーダー等の育成状況（各年4月1日現在）

項 目		年				
		平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
方針決定の場への登用	女性の農業委員	14人 (1.8%)	25人 (3.3%)	35人 (4.6%)	34人 (4.5%)	44人 (5.8%)
	県農政審議会委員の女性の割合	45.0%	45.0%	45.0%	45.0%	45.0%
女性リーダー等の認定	女性農業経営士	4人 (2.5%)	4人 (2.5%)	4人 (2.6%)	2人 (1.4%)	2人 (1.5%)
	女性青年農業士	2人 (1.5%)	2人 (1.3%)	4人 (2.3%)	4人 (2.2%)	3人 (1.7%)
	ViC・ウーマン	409人	410人	386人	379人	380人

* () は女性比率。

* 「ViC・ウーマン」とは、Village Conductor of Womanの略称で、「地域のよりよい『農林水産業とくらし』を指揮するリーダー」を意味する。

資料：農林水産政策課

(3) 農山漁村女性の起業等の状況

農山漁村女性による加工・直売や農家レストラン、各種体験受入等の起業活動が地域活性化や農林水産業振興の大きな原動力となっている。

平成 26 年度の女性起業数は 369 件で、このうち、グループ経営による起業活動は 194 件と過半数を占めているが年々減少しており、反対に個人経営による起業活動は 175 件で年々増加している。

起業内容は、直売所での販売や食品加工の取組が圧倒的に多くなっているが、体験農園や農産加工体験に取り組む事例が前年度より増加している。

農山漁村女性の起業数（各年 3 月 31 日現在）

形態	年度				
	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
個人経営	145 件 (41.1%)	148 件 (41.5%)	164 件 (43.6%)	171 件 (45.7%)	175 件 (47.4%)
グループ経営	208 件 (58.9%)	209 件 (58.5%)	212 件 (56.4%)	203 件 (54.3%)	194 件 (52.6%)
合 計	353 件	357 件	376 件	374 件	369 件

資料：農林水産政策課

(4) 漁業における女性就業者数

平成 25 年の漁業就業者を男女別にみると、女性は 1,932 人（構成比 19.6%）、男性は 7,947 人（同 80.4%）で、平成 20 年に比べ女性は 405 人、男性は 1,185 人それぞれ減少した。

なお、漁業における女性の役割は大きく、特に陸奥湾におけるホタテガイ養殖経営体では、女性をはじめ家族が重要な働き手となっている。

漁業就業者数（各年 1 1 月 1 日現在）

年	項 目	女 性	男 性	計
平成 15 年	人数	2,231 人	8,826 人	11,057 人
	構成比	20.2%	79.8%	100%
平成 20 年	人数	2,337 人	9,132 人	11,469 人
	構成比	20.4%	79.6%	100%
平成 25 年	人数	1,932 人	7,947 人	9,879 人
	構成比	19.6%	80.4%	100%

注) 平成 20 年、平成 25 年の漁業就業者数には、非沿海市町村に居住している漁業雇われの者が含まれる。

資料：農林水産省「漁業センサス」

5 地域社会における状況

(1) 消防団員に占める女性団員の割合

消防団員は、少子化・高齢化、産業・就業構造の変化等に伴い、年々減少傾向にある。このような中で、女性消防団員は増加傾向にあることから、女性消防団員の入団を更に加速させるため、市町村等の取組に対する支援や各種広報媒体を活用した消防団の紹介・PR活動を推進する。

消防団員に占める女性団員の割合（各年4月1日現在）

年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
消防団員数	19,830人	19,721人	19,527人	19,455人	19,246人
うち女性団員数	415人	414人	408人	436人	463人
女性比率	2.1%	2.1%	2.1%	2.2%	2.4%

資料：防災消防課

(2) 自治会長に占める女性の割合

地域における指導的地位である自治会長に占める女性の割合は、全国的にみても依然として低い。本県は、平成27年4月1日現在3.6%である。

自治会長に占める女性の割合（各年4月1日現在）

年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
自治会長数	3,543人	3,538人	3,497人	3,596人	3,591人
女性自治会長の いる市町村数	22団体	23団体	20団体	22団体	22団体
女性自治会長数	126人	115人	117人	138人	131人
女性比率	3.6%	3.3%	3.3%	3.8%	3.6%
(参考) 全国	4.3%	4.4%	4.5%	4.7%	—

資料：内閣府「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」

6 女性に対する暴力の状況

(1) 配偶者暴力相談支援センターにおけるDV相談件数

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（以下「配偶者暴力防止法」という。）に基づき、県が設置する女性相談所、6ヵ所の各地域県民局地域健康福祉部福祉総室・福祉こども総室、青森県男女共同参画センターの計8ヵ所で「配偶者暴力相談支援センター」として被害者からの相談、指導及び一時保護、情報提供、その他の援助を行っている。

平成26年度に配偶者暴力相談支援センターに寄せられた相談件数は720件（女性714件、男性6件）となっている。

配偶者暴力相談支援センターに寄せられた相談件数（各年3月31日現在）

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
青森県	689	744	715	747	720
全国	77,334	82,099	89,490	99,961	—

資料：こどもみらい課、内閣府

(2) 警察におけるDV相談取扱状況

平成26年に警察に寄せられたDV相談件数は561件に及んでいる。

また、検挙件数は、刑法犯等（傷害、暴行など）が55件で、配偶者暴力防止法に基づく保護件数は17件となっている。

DV事案は、被害者のほとんどが女性であり、暴力行為が長期間に及ぶことが多いため、被害者の早期相談が望まれる。

DV相談取扱状況（平成26年）

取扱件数	取扱件数	検挙件数		計	保護命令件数				
		刑法犯等	配偶者暴力防止法		接近禁止命令	接近禁止・退去命令	接近禁止・電話等禁止命令	接近禁止・退去・電話等禁止命令	退去命令
青森県	561	55	0	17	1	1	13	2	0
全国	59,072	6,875	120	2,576	185	61	1,744	582	4

資料：県警生活安全企画課人身安全対策室

<資料> 青森県の人口

1 人口の推移

平成26年10月1日現在の推計（青森県人口移動統計調査）による本県の総人口は、1,321,895人である。女性は701,330人（53.1%）、男性は620,565人（46.9%）で、平成25年に比べて女性が7,297人、男性が7,014人減少した。

なお、平成26年青森県人口移動統計調査（年齢別）における女性の人口を年齢別階級別にみると、年少人口（0～14歳）が75,803人、生産年齢人口（15～64歳）が395,718人、老年人口（65歳以上）は227,699人で、その割合は女性全体のそれぞれ10.8%、56.4%、32.5%となっており、老年人口の割合は男性24.7%（153,397人）に比べて7.8ポイント高くなっている。

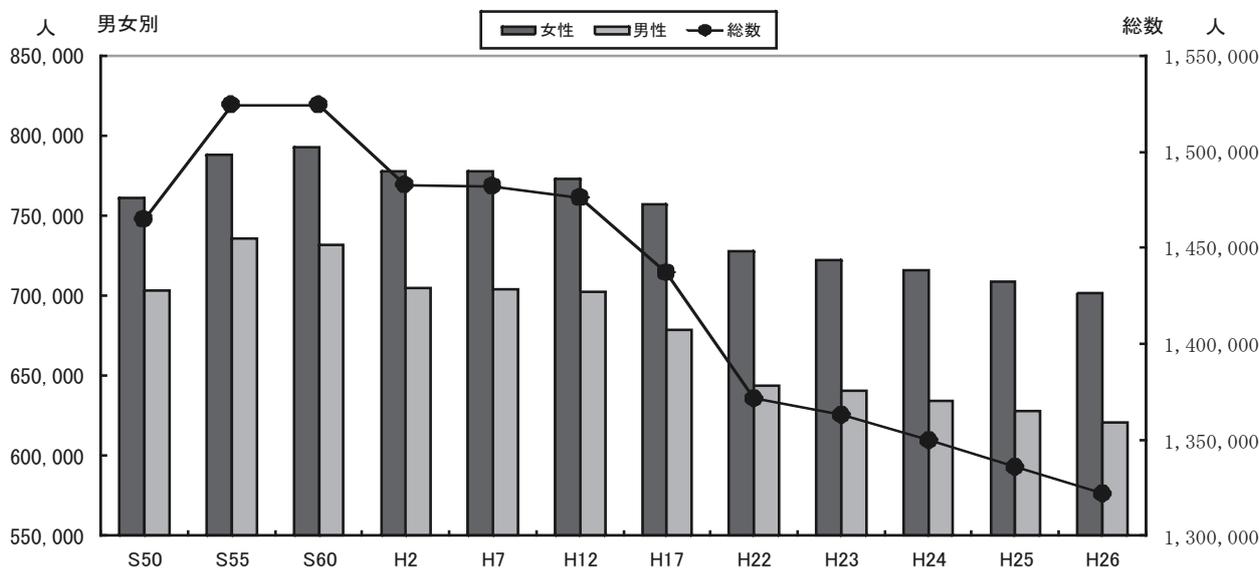
青森県の人口の推移（各年10月1日現在）

年次	世帯数	人口			前年に対する総数の増減	女100人に対する男比率
		総数	女性	男性		
昭和 50年	387,587世帯	1,468,646人	761,414人	707,232人	29,996人	92.9%
55年	428,557世帯	1,523,907人	788,463人	735,444人	12,535人	93.3%
60年	443,995世帯	1,524,448人	793,009人	731,439人	△2,915人	92.2%
平成 2年	455,304世帯	1,482,873人	778,115人	704,758人	△17,855人	90.6%
7年	482,731世帯	1,481,663人	777,474人	704,189人	10,667人	90.6%
12年	506,540世帯	1,475,728人	773,155人	702,573人	650人	90.9%
17年	510,779世帯	1,436,657人	757,580人	679,077人	△14,290人	89.6%
22年	513,385世帯	1,373,339人	727,198人	646,141人	△9,178人	88.5%
23年		1,363,038人	722,376人	640,662人	△10,301人	88.7%
24年		1,349,969人	715,773人	634,196人	△13,069人	88.6%
25年		1,336,206人	708,627人	627,579人	△13,763人	88.6%
26年		1,321,895人	701,330人	620,565人	△14,311人	88.5%

（注）世帯数については、国勢調査（確定値）による。

資料：統計分析課「青森県人口移動統計調査」

青森県の人口の推移



資料：統計分析課「青森県人口移動統計調査」

年齢（5歳階級）別推計人口（平成26年10月1日現在）

	青 森 県			市 部			町 村 部		
	総数(人)	女性(人)	男性(人)	総数(人)	女性(人)	男性(人)	総数(人)	女性(人)	男性(人)
総 数	1,321,895	701,330	620,565	1,021,666	544,134	477,532	300,197	157,146	143,051
0～4歳	46,381	22,652	23,729	37,205	18,136	19,069	9,159	4,526	4,633
5～9歳	49,225	24,221	25,004	38,933	19,258	19,675	10,294	4,964	5,330
10～14歳	59,130	28,930	30,200	46,305	22,514	23,791	12,837	6,426	6,411
15～19歳	64,373	31,766	32,607	50,408	24,952	25,456	13,945	6,799	7,146
20～24歳	51,616	24,658	26,958	42,191	20,464	21,727	9,345	4,196	5,149
25～29歳	55,095	27,182	27,913	44,540	22,286	22,254	10,576	4,875	5,701
30～34歳	67,461	33,490	33,971	54,067	27,215	26,852	13,390	6,276	7,114
35～39歳	79,620	39,633	39,987	63,736	32,164	31,572	15,920	7,474	8,446
40～44歳	87,530	44,183	43,347	69,617	35,497	34,120	17,926	8,683	9,243
45～49歳	84,125	43,178	40,947	66,251	34,317	31,934	17,881	8,854	9,027
50～54歳	87,334	44,946	42,388	67,655	35,164	32,491	19,685	9,782	9,903
55～59歳	94,274	49,250	45,024	71,282	37,531	33,751	23,022	11,720	11,302
60～64歳	109,493	57,432	52,061	82,214	43,558	38,656	27,278	13,871	13,407
65～69歳	99,862	52,973	46,889	76,149	40,907	35,242	23,717	12,064	11,653
70～74歳	84,622	47,825	36,797	63,905	36,179	27,726	20,730	11,652	9,078
75～79歳	77,198	45,784	31,414	56,584	33,565	23,019	20,599	12,210	8,389
80～84歳	63,172	40,027	23,145	45,742	29,074	16,668	17,421	10,948	6,473
85～89歳	37,475	26,067	11,408	26,599	18,536	8,063	10,867	7,525	3,342
90歳以上	18,767	15,023	3,744	13,384	10,771	2,613	5,362	4,237	1,125
年少人口 (15歳未満)	154,736	75,803	78,933	122,443	59,908	62,535	32,290	15,916	16,374
生産年齢人口 (15～64歳)	780,921	395,718	385,203	611,961	313,148	298,813	168,968	82,530	86,438
老年人口 (65歳以上)	381,096	227,699	153,397	282,363	169,032	113,331	98,696	58,636	40,060

(注) 1 県の人口には、県内市町村間移動者数を含んでいないため、各市町村（市部・町村部）の推計人口の総計とは一致しない。

2 総数には年齢不詳を含む。

資料：統計分析課「青森県人口移動統計調査」

2 出生・死亡の状況

(1) 出生

本県の平成26年の出生数（概数）は8,853人で、前年の9,126人に比べて273人減少し、出生率(人口千対)は6.7で前年の6.8を0.1ポイント下回った。全国は1,003,532人で前年の1,029,816人より26,284人減少し、出生率(人口千対)は8.0で前年の8.2を0.2ポイント下回った。

また、1人の女性が一生に産む子どもの数を表す合計特殊出生率は1.42で、前年の1.40を0.02ポイント上回り、全国の1.42と並ぶ結果となった。

出生数及び合計特殊出生率の推移（平成2年からの状況）

年次	出生数		出生率 (人口千対)		合計特殊出生率	
	青森県	全国	青森県	全国	青森県	全国
平成2年	14,635人	1,221,585人	9.9	10.0	1.56	1.54
7年	13,972人	1,187,064人	9.4	9.6	1.56	1.42
12年	12,920人	1,190,547人	8.8	9.5	1.47	1.36
17年	10,524人	1,062,530人	7.3	8.4	1.29	1.26
22年	9,711人	1,071,304人	7.1	8.5	1.38	1.39
23年	9,531人	1,050,806人	7.0	8.3	1.38	1.39
24年	9,168人	1,037,231人	6.8	8.2	1.36	1.41
25年	9,126人	1,029,816人	6.8	8.2	1.40	1.43
26年	8,853人	1,003,532人	6.7	8.0	1.42	1.42

資料：健康福祉政策課「青森県人口動態統計(概数)の概況」 厚生労働省「平成26年人口動態統計月報年計(概数)の概況」

(2) 死亡

本県の平成26年の死亡数（概数）は17,042人で、前年の17,112人に比べて70人減少し、死亡率(人口千対)は12.9で前年の12.8を0.1ポイント上回った。また、全国は1,273,020人で、前年の1,268,436人より4,584人増加し、死亡率(人口千対)は10.1で前年と同率であった。

死亡数の推移（平成2年からの状況）

年次	死亡数		死亡率 (人口千対)	
	青森県	全国	青森県	全国
平成2年	10,812人	820,305人	7.3	6.7
7年	12,496人	922,139人	8.4	7.4
12年	13,147人	961,653人	8.9	7.7
17年	14,882人	1,083,796人	10.4	8.6
22年	16,030人	1,197,012人	11.7	9.5
23年	16,419人	1,253,066人	12.1	9.9
24年	17,294人	1,256,359人	12.8	10.0
25年	17,112人	1,268,436人	12.8	10.1
26年	17,042人	1,273,020人	12.9	10.1

資料：健康福祉政策課「青森県人口動態統計(概数)の概況、厚生労働省「平成26年人口動態統計月報年計(概数)の概況」

3 婚姻と離婚の状況

(1) 婚姻

本県の平成26年の婚姻件数(概数)は5,481組で、前年の5,723組に比べて242組減少し、婚姻率(人口千対)は4.2で、前年の4.3を0.1ポイント下回った。また、全国は643,740組で前年の660,613組より16,873組減少し、婚姻率(人口千対)は5.1で前年の5.3を0.2ポイント下回った。

(2) 離婚

本県の平成26年の離婚件数(概数)は2,195組で、前年の2,335組に比べて140組減少し、離婚率(人口千対)は1.67で、前年の1.75を0.08ポイント下回った。また、全国は222,104組で前年の231,383組より9,279組減少し、離婚率(人口千対)は1.77で前年の1.84を0.7ポイント下回った。

婚姻、離婚件数・率の推移(平成2年からの状況)

年次	婚姻				離婚			
	婚姻件数		婚姻率 (人口千対)		離婚件数		離婚率 (人口千対)	
	青森県	全国	青森県	全国	青森県	全国	青森県	全国
平成2年	7,892	722,138	5.3	5.9	2,001	157,608	1.53	1.28
7年	8,306	791,888	5.6	6.4	2,429	199,016	1.64	1.60
12年	8,138	798,138	5.5	6.4	3,092	264,246	2.10	2.10
17年	6,584	714,265	4.6	5.7	3,281	261,917	2.29	2.08
22年	5,924	700,214	4.3	5.5	2,679	251,378	1.96	1.99
23年	5,583	661,895	4.1	5.2	2,377	235,719	1.75	1.87
24年	5,846	668,869	4.3	5.3	2,408	235,406	1.79	1.87
25年	5,723	660,613	4.3	5.3	2,335	231,383	1.75	1.84
26年	5,481	643,740	4.2	5.1	2,195	222,104	1.67	1.77

資料：健康福祉政策課「青森県人口動態統計(概数)の概況」厚生労働省「平成26年人口動態統計月報年計(概数)の概況」